

図書館だより

6月号

2024.06.01 発行



今月のおすすめ本 \ こんな本はどう? /

これまでに本と触れ合った記憶を覚えていますか。子どもの頃誰かに読んでもらいわくわくした絵本、教科書に載っていたちょっと気になる小説、途中で挫折した思い出の名作やドキッとする展開に「誰かと語りたい」と思った小説。

そんな本との思い出を振り返りつつ、図書館で新しい本・懐かしい本と出会ってみませんか。

一般書



山月記
著:中島敦
立東舎

羞恥心のあまり人を食べる虎になってしまった李徴の苦悩を綴った、中島敦による不朽の名作と、イラストをコラボレーションさせた1冊。



スナックキズツキ
著:益田ミリ
マガジンハウス

傷ついた人しかたどり着けないという「スナックキズツキ」。そこでつかの間の時を過ごした客は、気づくとその心のもやもやが解消されているという…。
疲れた時にほっと一息つけるコミック。



私は私のままで生きることにした
著:キムスヒョン
ワニブックス

人生で一番大切なものはあなた自身。今を生きるごく普通の「私たち」に向けて、他人と比べず自分を認めて愛する方法を伝えるイラストエッセイ。

児童書



ふたりはいつも
作:アーノルド・ローベル
文化出版局

がまくんとかえるくん、ふたりによるユーモラスな冒険物語。「そりすべり」から「クリスマス・イブ」までふたりの一年間の生活が盛り込まれた5編を収録。



獣の奏者 1
著:上橋菜穂子
講談社

獣ノ医術師の母が処刑され孤児となった少女エリンは、天を翔ける王獣と出会ったことをきっかけに、獣の医術師になろうと決心する。そのことがやがてエリンを、王国の運命を左右する立場へと追いやっていく…。



ほら、ここにいるよ
著:オリヴァー・ジェファーズ
ほるぷ出版

私たちの住む地球という星のこと、そこで暮らす人間のこと、そして人間の営む世界のこと…。この世界のすばらしさや生きていくために大切なメッセージを伝える絵本。



おしらせ \ 「ココ^{マル}〇コーナー」の設置について /

図書館では、1階の自動販売機コーナー付近のスペースでの飲食、隣接するデスクでのパソコン使用など、これまでできなかったことがここでならでできるスペースを「ココ^{マル}〇コーナー」として提供します。

また、熱中症特別警戒アラートが発表された際の「クーリングシェルター」としても開放します。マナーを守ってご利用ください。

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27 休館日	28	29	30	31 休館日	1
2	3 休館日	4	5	6	7	8
9	10 休館日	11	12	13	14	15 どうよ日の 図書館
16 サンデー ロードショー	17 休館日	18	19	20	21	22 どうよ日の 図書館
23	24 休館日	25	26	27	28	29
30	7/1 休館日	2 休館日	3	4	5	6



どうよ日の図書館 1階お話しコーナー / 午前11時から

おはなし会

15日(土) 朗読クラブ いっぽ

22日(土) おはなしグループ コキュポット



サンデーロードショー 2階視聴覚室 / 午後1時30分から

「幸せへのまわり道」(日本語字幕)

16日(日) 洋画 109分

雑誌記者とかつての人気司会者が、取材の名目を越えた交流を深めていく…実話を基にしたヒューマンドラマ。